

「怪我でも事故でもないのに、 突然歩けなくなった症例 4 ケース」

日本ホメオパシーセンター愛知弥富

加藤育代

JPHMA認定ホメオパスNo. 0912

JPHF認定インナーチャイルドセラピストNo. 0152

症例 1 20歳 女性

- ▶ 主訴；左股関節の痛みでうまく歩けない、
膝にも痛みがあり、転びやすい。
- ▶ タイムライン；
 - 8月22日 左足の付け根に痛みを感じ始める。
 - ～25日 マッサージを受けるが効果なく、痛みが増す。
駅の階段で転び、左足首をくじく。
サンダルも壊れた。
 - 27日 ホメオパシー相談会

「脚を痛めた記憶もなく、何故痛くなり、
上手く歩けないのかわからない！」

物理的要因無し、
心理的要因か？

股関節の痛み

→先に進みたくない

→やりたくないこと。
気が進まないことがある。

選択したレメディー；手持ちのキットから

Nat-m. (塩化ナトリウム) : 30C 朝1粒
200C 夜1粒

※ 痛みが取れるまで

Acon. (トリカブト) : 30C 昼 又は
200C 水筒に1粒
寝る前1粒

※ 恐怖心が無くなるまで

選択の根拠 ; The Bonninghausen Repertory

286 下肢一脚

904 体の側面一左側

#1007 重い感覚一内側部分の

#1025 動き一困難な:歩行時によろめく(足取り運動失調)

#1275 関節全般一麻痺性の(不具にする、足を不自由にする)痛み

#1308 筋肉全般一麻痺性の(不具にする、足を不自由にする)痛み

#1747 <不安(恐れ及び恐怖も)から

797 精神一憂うつ

➡ 1位 **Nat-m.**, 2位 Cocc., 3位 Graph., 4位 **Acon.** ...

- Nat-m. : TBRトップ。現在は恐怖心が強いが、根底には悲しみがあるのかもしれない、症状にも適合。
- Acon. : 精神症状ではIgn. と並びトップ。
過去このクライアントによく作用した経緯から。

ケース 1 の結果と考察；

- ▶ 気持ちも楽になり、翌週には痛みもなく、荷物を取りに行くことができた。
- ▶ 不思議なことにあれほど嫌悪感を抱いていた路線、駅名にも、何も感じなくなった。
- ▶ “心”を“体”に落とし“症状”となることがよくわかるケースであったと思います。脚の痛みが癖になる前に相談会にかかり、自分の気持ちと向き合うことで、嘘のように症状は消えました。

症例 2 48歳 女性

- ▶ 主訴；3月24日 右股関節あたりに急に違和感、体重がかかると痛みで歩行困難
- ▶ タイムライン；
 - 3人兄弟の末っ子。家族と長年にわたる確執があり、現在は実家と遠く離れて生活している。
 - 父親の入院に際し、母親から手伝いの依頼。母には会いたくない。今更、頼られても困る！
 - 4月末のイベントの運営側にボランティア参加。多くの重要な案件を丸投げされ疑問に、方向性の違いも見えてきて、参加したくない思いが強い。

選択したレメディー；

Nux-v. (マチンシ) 30 C : 1粒／日

Turq-E. (トルコ石) 200 C : 寝る前 1粒

↑

吐き出せない思いを外に出す助けに。



※適用書レメディーに追加してとる。

※インナーチャイルド癒し、痛みに対するセルフ施術を並行して行う。

選択の根拠 ; The Bonninghausen Repertory より

- # 276 下肢一股関節 (寛骨臼大腿)
- # 905 体の側面一右側
- # 922 折れたような痛み
- # 923 打撲したような痛み
- # 950 締め付けられるような痛み一内側部分に
- #1297 筋肉全般一圧するような痛み(および疼痛)
- #1850 >患部を曲げることによって
- # 792 精神一短気(怒り、攻撃性など)

➡ 1位 **Nux-v.**, 2位 Calc., 3位 Puls., 4位 Ign

- Nux-v. : TBRトップであり、長年の**伝えられない怒りが痛み**になっているのではと選択
- Turq-E. : 空咳も続いていたため、
思いをうまく言葉にできるようにと選択

ケース2の結果と考察；

- ▶ ゴールデンウィークまでかかると思われた痛みが4月中旬には楽になった。
- ▶ 手伝いに来れないなら、手術しろという親に対し実家手伝いの拒否を伝え、また、イベント主催者に、当日は手伝えない旨をはっきり伝えられたことが、痛みが消えた最大の理由だろうと本人も話している。
- ▶ その後も相談会を続け、**インナーチャイルド癒し**を続けている。

症例 3 80歳 男性

▶ 主訴；12月16日 朝起きたら、脚に力が入らず、
寝床から起き上がれない。歩行困難

▶ タイムライン；

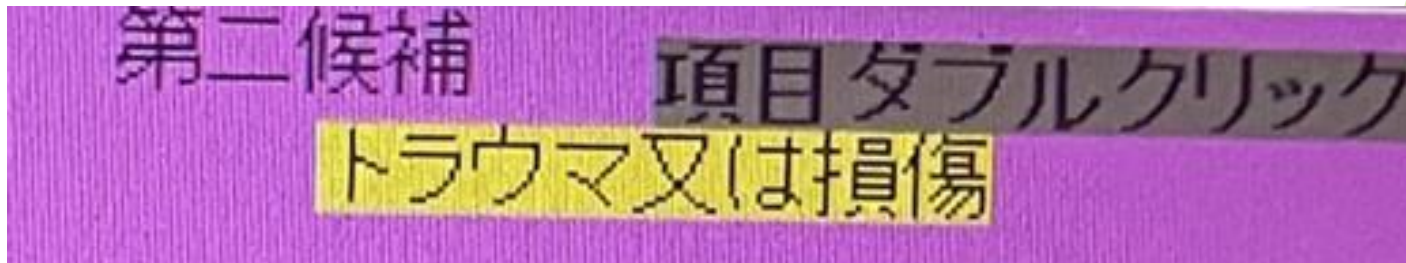
12月14日 QX-SCIO相談会

16日朝 奥様から歩けなくなったと連絡

※意識ははっきりとし、気分も悪くないが、年齢的に
脳卒中の疑いもあるので、アコナイト、アーニカ、アー
セニカムのコンビネーションレメディィーをとり、場合
によっては救急車を呼ぶようにと伝え、遠隔にてQX
-SCIOをかけた。

Q X - S C I Oでの結果は…

- ▶ 脳関連は出ず、脚、股関節、筋肉と併せ、感情面で怒り、悲しみ、落ち込み、混乱が強く出ていた。
- ▶ 超意識からは“**トラウマ又は損傷**”が示唆された。



- ▶ 実は、14日の相談会時、**QX-SCIO**から**“股関節”**というワードが繰り返し出ており何度も「脚は痛くないですか？」「怪我や転倒はされていませんか？」とお尋ねしていました。
- ▶ 相談会の前日、車をぶつけていた。その修理見積り連絡を昨晚受けた。
(思っていたよりかなりの高額)

➡ **これまで運転には自信を持っていたのでショックが原因か？！**

選択したレメディー；手持ちのものから
すぐに

サポートAAA（トリカブト、ウサギギク、ヒ素）
その後、

随時：サポートPet15（神経のサポート）

砂糖粒① 朝に Calc.（炭酸カルシウム）300C

砂糖粒② 夜に Verat.（バイケイソウ）200C

※とりあえず3日間続けて様子を見る

※呂律、吐き気、顔面の変化など注意し、**異変が**

あれば即救急車を呼んでいただくように伝えた。

選択の根拠 ; The Bonninghausen Repertory より

- # 274 下肢—下肢の関節、全般
- # 286 下肢—脚
- #1025 動き—困難な : 歩行時によろめく (足取り) (運動失調)
- #1045 麻痺—体肢 (部分の) の
- #1160 弱さ (無力症、無気力、衰弱) : 麻痺性の
- #1294 筋肉全般—無緊張 (たるみ、弛緩)
- #1754 <悲しみおよび嘆き (困惑)
- # 792 精神—短気 (怒り、攻撃性など)

➡ 1位 **Calc. Verat.** , 3位 **Cocc.** , 4位 **Puls.** …

- **Calc.** , **Verat** : TBRトップ、肉体面、精神面共にクライアントに適合している。
- **AAA.** : 脳疾患を疑い指示したが、精神的にも助けになると選択

ケース 3 の結果と考察；

- ▶ 2日後も歩けないようであれば必ず受診するよう伝えたが、**翌日**には、ふらつきながらも**歩行が回復**。その後も問題なし。
- ▶ 緊急遠隔QX-SCIOからも**精神的トラウマ**が主原因と示唆され、精神にアプローチすレメディィーも効果がみられた。
- ▶ QX-SCIOでは表に出ていない感染など、**未病の状態が出る**ことも多いが、今回のケースは非常に興味深いものでした。

症例 4 47歳 女性

主訴；

朝、仕事に行こうと思ったら、
脚に力が入らない、動けない！
ぎっくり腰ではない。



遠隔にてQX-SCIOをかける。

※遠隔 Q X - S C I O から :

▶原因 ; サイキックアタック ← 仕事関連 ?

第二候補 項目タブ
サイキックアタック

▶療法 ; 腸及び肝臓の解毒 ←

毒素

／自然療法による症状緩和

被験者へのヒントが表示されます

被験者の超意識が伝える可能性のある療法は:

第一候補 腸及び肝臓の解毒 / 自然療法による症状緩和:

※クライアントへの聞き取りから：

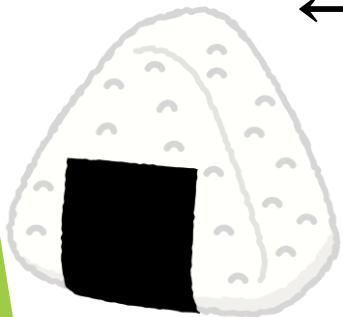
▶ 仕事関連によるサイキックアタック

← 銀行の融資関係の仕事
差し押さえ等に関する嘆願書
を扱っている。(心当たり有り！)

▶ 毒素

(毒素ページにて生ものに使われる添加物)

← 某コンビニのまぐろの入った
おにぎりを毎日食べている。



選択したレメディー；

水筒に、**肝臓のサポートチンクチャー**

夜：Φ E c h i + Φ H y p e r + 心経 + 祝詞

↑

クライアント「不味くて飲みにくい！」

ホメオパス「スプレーしたり、

お風呂に入れてください。」

FE)プロテクション&クリアリング（防御と浄化）

↑販売終了商品

現在なら **FE2)防御**、**FE2)浄め**を使用




ケース4の結果と考察；

- ▶ ほどなく歩けるようになったが、**職業上、防御は必要**だと伝え、フラワーエッセンスを職場ロッカーにて朝晩使うように。
- ▶ 食の問題から引き起こされる健康上の問題も少なくない。**コンビニ食**をやめることが望ましいが、難しい中にも、日々気を遣うようになった。

4つのケースを通じて；

- ▶ 緊急のケースながらも、症状のみならず**精神面も考慮**しレメディー選択を行った。
- ▶ 一概に歩けない！といっても、原因は様々であり、使用したレメディーもクライアントにより異なる点が、非常にホメオパシー的であった。
- ▶ どのケースにおいても、**精神面で楽**になったという声が聞かれた。



ご視聴ありがとうございます
ございました。